

平田高校 受け入れ体制班 資料

外国人の増加に伴う様々な問題と改善点
高校生ができること・できないこと

二年二組

アンケート調査について

▶ 協力企業

平田地域で外国人労働者を雇用している企業9社（中国、ベトナム、ミャンマー、ブラジル）の事業者10名 11社中9社からの回答をいただいた

質問項目

1. 外国人を雇ってよかったことは何か？
2. コミュニケーションの方法は？
3. 外国人労働者の受け入れで困ったことは？
4. 働いている時に、日本人との考え方や行動の違いを感じるか？
5. 今後、外国人労働者の雇用を拡大するか？
6. 外国人雇用について国、県、商工会議所への要望はあるか？

達成難易度

低

高

No

6

5

4

1

3

2

日本の文化・マナーを徹底してほしい

日本語教育の場を充実させたい

書類・手続き等が複雑なので簡素化してほしい

道路標識や公共物の看板等・各国に対応したものを増やしてほしい

外国人が安心して働く地域にしたい

外国人雇用企業に対する補助をほしい

要望

優先順位

- 1** 道路標識や公共物の看板等、各国に対応したものを増やしてほしい
- 2** 外国人雇用企業に対しての補助をしてほしい
- 3** 外国人が安心して楽しく働ける地域にしてほしい
- 4** 書類・手続き等が複雑なので簡素化してほしい
- 5** 日本語教育の場を充実させてほしい
- 6** 日本の文化・マナーを徹底してほしい

優先順位

- 1 外国人労働者向けの住居が欲しい
- 2 文化の違いを理解してもらおうこと
- 3 言葉が通じてほしい
- 4 健康管理をしっかりとしてほしい

活動の流れ

- 5月 アバンセコーポレーションの方（日系人）のお話を聞いた。
- 6・7月 外国人労働者を雇用している企業へのアンケート作成
平田商工会の方のお話を聞いた。
- 8月 アンケート実施（平田地域の9社の協力）
伊波野コミセンへの聞き取り調査
ボランティア（日本語教室、多文化子ども教室）
- 9月～ アンケート集計・分析
- 10月 「グローバルカフェ」主催・運営
NPO法人エスペランサの協力

事業者の理想

- ▶ できることなら翻訳ソフトや通訳を通さず、日本語でコミュニケーションができる

改善策

- ▶ 日本語教室を定期的に関く
- ▶ 日本人との交流の場を設ける

理想

- 1 外国人労働者向けの住居が欲しい⇒お金がかかるので難しい
- 2 文化の違いを理解してもらおうこと⇒交流会を開く
- 3 言葉が通じてほしい⇒日本語教室を開く
- 4 健康管理をしっかりとしてほしい⇒ポスターなどで呼びかける



- 1 市にお願いする
- 3 市にお願いする
- 2 交流会を開く
- 4 ポスター作製
(地域に呼びかける)

外国人とどうやってコミュニケーションをとっているか？

現状

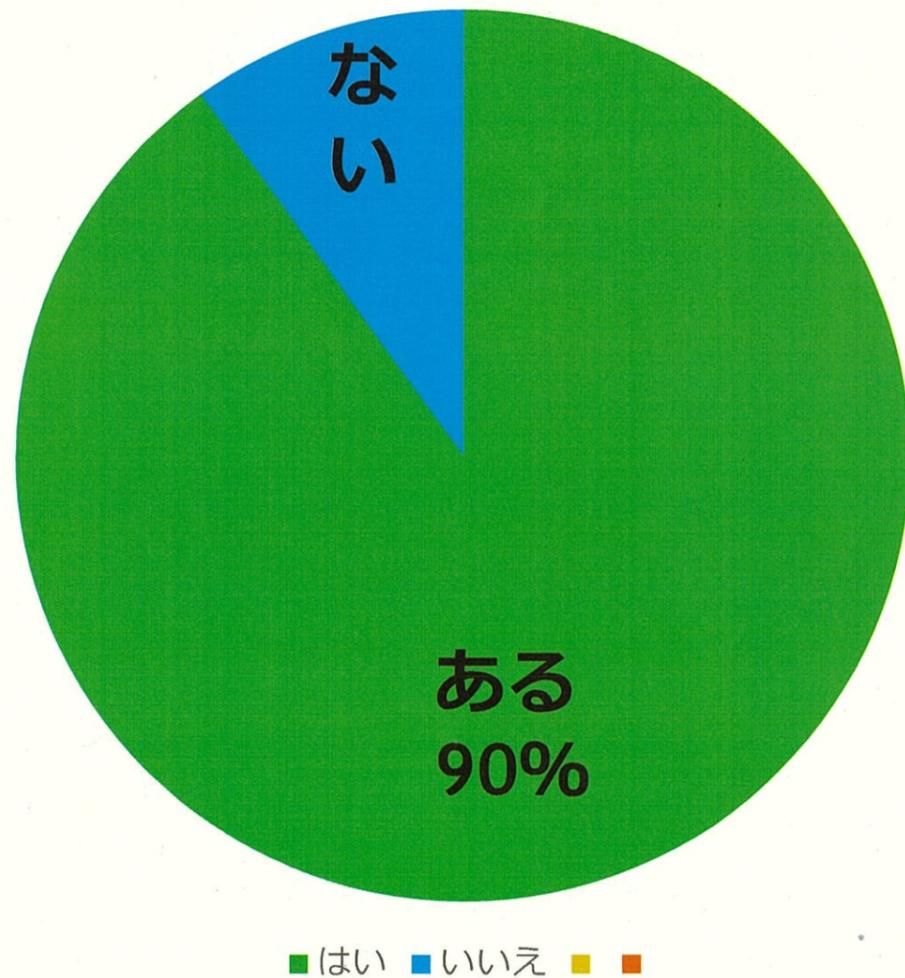
- 作業を口頭で伝える。
- 声掛け、会話などのコミュニケーションを多くとる。
- 翻訳ソフトや翻訳機等を使う。
- 通訳を通しての会話。
- きれいな日本語（なまりがない）で話す。
- 外国人労働者と交流できる行事を企画 例. レクリエーション大会、食事会など
- 業務日誌を日本語で書いてもらう。

外国人を雇ってよかったこと

「ある」の内容

- ・ 安定した労働力を確保できる
- ・ スタッフの不足の解消に役立っている
- ・ 真面目で意欲的に働いてくれる人が多い
- ・ 職場の雰囲気明るくなり、活気が出た
- ・ 意欲的な人材を雇うことによって生産体制を継続できる
- ・ 言葉が通じにくい相手に指導することで自分も成長できる

アンケート結果

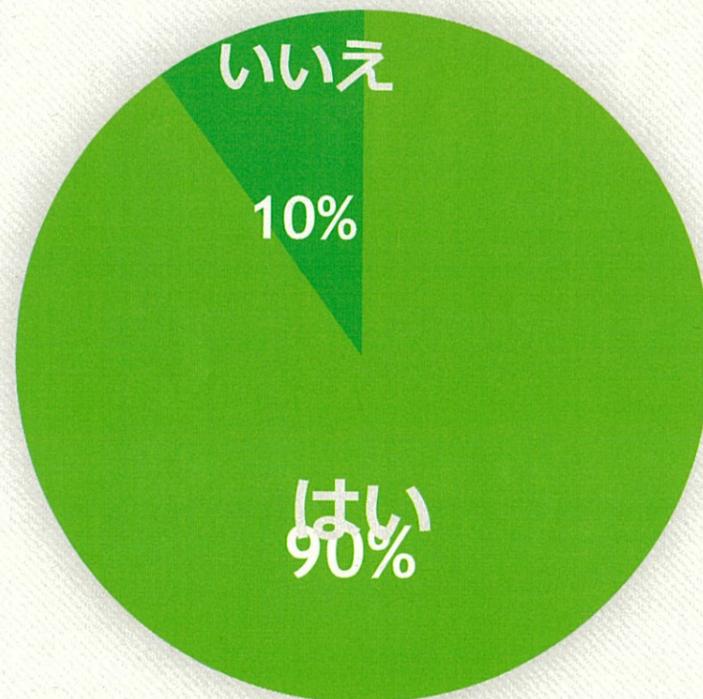


10月5日(土)



外国人労働者と働いているときに、日本人と外国人の考え方や行動の違いを感じますか。

アンケート結果



■はい ■いいえ ■ ■

問題点

- ・時間を正確に守らない
- ・片付け、掃除をしない
- ・ゴミの分別をしない
- ・物の取り扱いが雑
- ・トイレを流さない人がいる

改善策

ポスターを貼ったり、朝礼で呼びかけたりして対策

まとめ

- ▶ 外国人の方も日本人と仲良くなりたいたいと思っている。
- ▶ 日本の外国の方に対する制度・待遇の改善、向上が必要。
- ▶ 日本のマナーなどを理解する機会がない。



高校生がしていくべきこと
交流会を定期的に行う。

日本のマナーを伝える・体験してもらう。